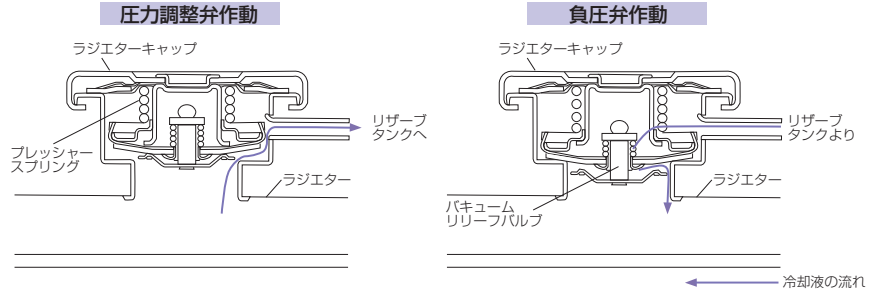
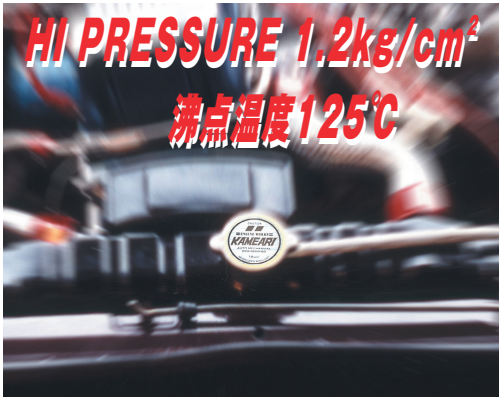


ハイプレッシャーラジエーターキャップ / ローテンプサーモスタット

ハイプレッシャーラジエーターキャップ

(ステンレス製)



このラジエーターキャップは、圧力弁スプリングを強化し開弁圧をアップすることでラジエーターの冷却性能を最大限に引き出します。仮に冷却水の温度が100度を超えて上昇してもラジエーター内圧力が高圧力を維持しているため冷却水は沸騰しません。純正品の設定圧の0.9kg/cm²に対し、1.2kg/cm²の高圧力をかけた冷却水は約125℃まで沸点が高まりオーバーヒート対策に大きな効果を発揮します。

・旧車用大径タイプ

価格 ¥3,500

日産	品番 NT-121	トヨタ	品番 NT-121
スカイライン	S43.8 ~ S60.8	カローラ、スプリンター	S45.5 ~ S58.5
フェアレディーZ	S44.10 ~ S58.9	セリカ	S45.12 ~ S56.7
ブルーバード	S42 ~ S58.10	スターレット	S48.4 ~ S57.7
サニー	S45 ~ S60.8	カリーナ	S45.2 ~ S56.8
シルビア、ガゼール	S50 ~ S58.7	ソアラ	S56.6 ~ S60.12
ローレル	S47.4 ~ S59.10		

・小径タイプ

価格 ¥3,000

日産	品番 NT-12S	トヨタ	品番 NT-12S
スカイライン	S60.9 ~	カローラ、スプリンター	S58.6 ~
フェアレディーZ	S58.9 ~	セリカ	S56.8 ~
ブルーバード	S58.10 ~	スターレット	S57.8 ~
サニー	S60.9 ~	カリーナ	S56.9 ~
シルビア、ガゼール	S58.8 ~	ソアラ	S61.1 ~
ローレル	S59.10 ~		



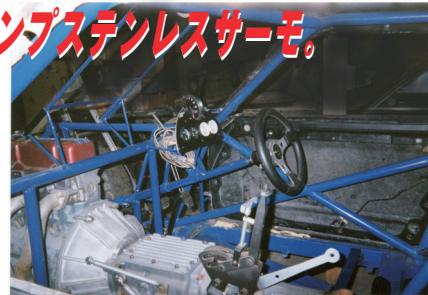
71度 ローテンプサーモスタット

(ステンレス製)



レーシングテクノロジーから生まれた!

71℃ローテンプステンレスサーモ。



エンジンが本来一番パワーを望める温度は一体何度なのか?
エンジン内部の水温には部分的に温度ムラが発生しています。

たとえば水温計の温度が80度であったとしてもエンジン後方部では85度から90度上昇していてデトネーション(ノッキング)の兆候がすでに発生しているのです。燃焼を効率よく生かせるシリンダーヘッド温度とはデトネーション発生温度手前ギリギリを狙う必要があります。それには十分な冷却性能と冷却水の正確な早期循環制御が絶対必要不可欠になります。kameariローテンプサーモは開弁温度を71℃に設定することで冷却水を早めに循環させ熱ダレやオーバーヒートを防止し本来のエンジン性能を最大限に引き出します。



適合車種

価格 ¥6,500

日産	品番 N-711	トヨタ	品番 T-711
スカイライン	L20 ~ L28, S20	カローラ、スプリンター	2TG, 2T
フェアレディーZ	L20 ~ L28, S20	セリカ	2TG, 18RG
ブルーバード	L18, L20, Z20	スターレット	3K, 4K
サニー	A12 ~ A15	カリーナ	2TG, 18RG
シルビア、ガゼール	Z20, FJ20		
ローレル	L20 ~ L28		

※N-711...U20、R16、G7 使用可